

当社取締役会の実効性に関する評価の結果について

株式会社 SCREEN ホールディングス

当社では、コーポレート・ガバナンスを有効に機能させるために取締役会がどのように貢献しているかを検証し、課題を抽出し改善を図る目的で、取締役会自身が取締役会の実効性の分析・評価を実施、その結果の概要を開示しております。2024年3月期における当社取締役会の実効性について、分析・評価を行いましたので、その結果の概要を下記のとおり公表いたします。なお、分析・評価については、第三者機関の助言を得て実施し、当社外の評価結果との比較も行っております。

当社取締役会では、下記の分析・評価を踏まえ、対応策の策定とその実行を進め、取締役会の機能を向上させ、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を進めてまいります。

記

1. 評価および分析の方法

- 実施時期 2024年2月20日～3月4日
- 回答者 全取締役および全監査役（社外役員含む計12名）
- 実施要領 第三者機関作成のアンケートによる自己評価方式
 - 第三者機関が無記名式による自己評価アンケートを実施
 - 第三者機関がアンケートを集計、結果を分析
 - 第三者機関より受領した報告書を取締役会で検証・議論
- 質問事項（計40問）
 - 取締役会の構成
 - 取締役会の運営
 - 取締役会の議論
 - 取締役会のモニタリング機能
 - 社内取締役のパフォーマンス
 - 社外取締役のパフォーマンス
 - 取締役・監査役に対する支援体制
 - トレーニング
 - 指名・報酬諮問委員会
 - 株主（投資家）との対話
 - ご自身の取り組み
 - 総括

各質問に対する自己評価は5段階で行うとともに、当社取締役会の実効性をさらに高めるために必要な点などについて自身の考えを自由に記入し、回答者は直接第三者機関に報告しました。

2. 評価結果

当社取締役会はその役割・機能を概ね適切に果たしていると評価いたしました。2023年3月期に比べて特に向上した面は、「経営戦略や経営計画におけるグループ全体の潜在的なリスクとその対処方法についての議論の実施」、「取締役・監査役と内部監査部門との連携」でした。

一方で、「グループ全体の将来における事業ポートフォリオの方針決定と定期的な見直しの実施」、「中核人材の多様性の確保の考え方や、その目標、人材育成方針・社内環境整備方針についての適切な議論」、および「役員に求められるトレーニングの機会提供」については改善の余地が示されておりました。

3. 今後の取り組み

今回の取締役会実効性評価において抽出された3つの課題については、取締役会に加えオフサイトミーティングなど、より広範囲な議論ができる場を作ってまいります。また、今回の評価結果を踏まえ、当社取締役会ならびに社内関係部署において改善を進め、さらなる取締役会の実効性向上に努めてまいります。

【ご参考】2023年3月期評価において認識した課題（1項目）とその取り組みについて

取締役・監査役と内部監査部門等との連携体制

取締役会・監査役会での定期的な内部監査結果の報告を、継続してそれぞれ年2回行ってまいりました。また、2024年3月期では取締役・監査役の意見交換会や社外取締役・社外監査役による意見交換会を継続して開催し、情報共有の充実に努めてまいりました。